



# りすぐみだより

2020年度 尚徳福祉会 生麦保育園

立春とは名ばかりで、毎日寒い日が続いています。りす組の子どもたちは、鼻水や咳をする子が数名のほかは、特に大きく体調を崩すことも無く、コロナ渦でも毎日元気な笑顔を見せてくれています。今年度も後2か月余り、体調に気を付けながら、楽しい日々を送りたいと思います。

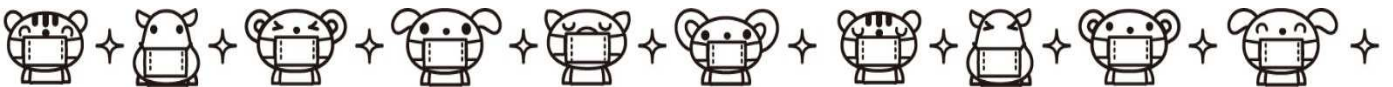
## ～お散歩で～

天気の良い日は出来る限り、散歩に出掛けるようにしています。貝の浜公園では、初めに広場でかけっこをします。「よーいどん」の掛け声で元気よく走る姿はみんな笑顔です。その流れから、木の陰に隠れ、「狼さん今何時？」の鬼ごっこ。保育者の「夜中の12時」の声に「きゃーっ！」と言いながら逃げ出します。おもいきり走って、満足して帰ってきます。先日は、初めて河川敷を通り、鶴見線の高架下まで行ってきました。道すがら、霜に触ったり、高架下の壁に移る水の反射による揺らめきを発見し、不思議そうに観察したり、通過する鶴見線電車に歓声の声を上げたり、楽しい発見がいっぱいでした。



## ～進級に向けて～

近頃なんでも自分でやろうとする姿が見られます。着替えだけでなく、上着のジッパーを上げようとしたり、布団を半分に畳んでくれたり、とても意欲的です。しばらく様子を見ながら、できない時は手を貸すようにしています。「やって」と声に出して言える子も多くなりました。一つずつできることが増え、「すごいね。できたね！」と褒められることも多くなり、子どもたちの自信に繋がっています。ご家庭でも子どもたちになるべく自分でできるような機会を作っていただけたらと思います。



## ～楽しい行事～

・2月2日は節分です。豆まきに向けて、「豆まき」の歌を歌ったり、「鬼のパンツ」の歌遊びをしたり、鬼のお面を製作しました。目を描いたり、眉毛や紙を糊付けしてとても可愛くてユニークなお面が出来上がりました。お面を付けて、新聞を丸めた豆で、怖がらずに鬼退治ができるか楽しみです。当日のクラス写真をお楽しみに。

## ～お願い～

・新しい冬物衣類がカゴの中に入っていることが多く見られるようになってきました。同じ柄やデザインのものも多く、名前がなくて見分けがつかないことがあり困っています。靴、靴下等すべての持ち物に名前が入っているか、もう一度ご確認ください。